

## 9-2 地震のことを考え、話し合ってみよう② — 災害のイメージを持ちましょう

災害時の映像や写真を見てもらい、災害が起こるとまちはどのようなようになるか、災害時のイメージを持ってもらいます。



地震のときの揺れの様子、被害の様子などのイメージを理解します。



時間軸

### 実施内容

以下、説明文【例】をもとに進めてください。

#### 1 被害を考える際の条件を説明 (2分)

##### 説明文【例】

これまでの作業で把握した地域のいろいろなことに対して、災害が発生したと仮定して起こりうる被害を想定します。今回の条件は次のとおりです。

『日時：9月3日(水) 午前10時00分、  
震度：震度6強、天候：晴れ、風向：北西、風速：5m/s』

##### 被害を考える際の条件(例)

日時：9月3日(水)  
午前10時00分  
震度：震度6強  
天候：晴れ  
風向：北西  
風速：5m/s

#### 2 地震の揺れのイメージを映像で紹介 (3分)

⇒映像24・25

##### 説明文【例】

- 震度6強の揺れのイメージや地震が起こったときにまちはどのような被害になるかを映像や写真で説明していきます。
- 地震によって、建物の中もしくは建物自体はどのように揺れるのかをまず映像で見てもらいます。映像24・25（建物や中の揺れの様子）を見せます。
- （映像視聴後）このような形で、建物内はめちゃくちゃになります。建物自体も大きく揺れて、揺れに耐えられないものが倒れたり、外の壁が崩れたり、ひびが入ったりすることが考えられます。



映像や写真で地震の被害をイメージ

#### 3 地震の被害のイメージを写真で紹介 (12分)

⇒映像1～3 ⇒資料9-1

##### 説明文【例】

- 地震によって、建物やまちはどのようなようになるのか、被害の様子を映像で見てもらいます。地震災害の様子の映像1～3（阪神大震災関連）、東日本大震災の映像を見せます。
- 続いて、地震が起こるとどんな被害になるか、写真を見てもらいます。資料9-1（地震のときの被害の様子）を配付し、写真について簡単に説明します。

#### 4 まとめ

##### 説明文【例】

地震が起こると、以上のような被害が起こります。こういった被害が起こることというのを頭に入れていただき、次からの作業の参考にしてください。

### ●● 指導ポイント

ここでは、条件を提示した上で、映像や写真を活用して、地震や被害に対するイメージを持ってもらうことが重要です。特に映像は視覚的に非常に効果があるので、十分活用してください。

### ●● 自主防災組織の関わり方

自分の経験も踏まえて、地震の揺れや被害のイメージをお話ししてもらえると、さらに効果的にイメージが伝わります。

### ●● 準備するもの(目安)

| 準備品                                      | 数       | 備考         |
|--|---------|------------|
| <input type="checkbox"/> 映像「建物や中の揺れの様子」  | 1       | 映像24・25    |
| <input type="checkbox"/> 映像「地震災害の様子」     | 1       | 映像1～11     |
| <input type="checkbox"/> 資料「地震のときの被害の様子」 | グループに1つ | 資料9-1（配付用） |
| <input type="checkbox"/> パソコン            | 1       | 必要に応じて準備   |
| <input type="checkbox"/> プロジェクター         | 1       | 必要に応じて準備   |
| <input type="checkbox"/> スクリーン           | 1       | 必要に応じて準備   |
| <input type="checkbox"/> スピーカー           | 1       | 必要に応じて準備   |

### ●● 家庭への持ち帰り

家庭でも保護者と一しょに、地震によってどんな被害がありうるのか、考えてみてほしいと指導してください。

### ●● ひと工夫

参加者の中に大地震を経験した方がいらしたら、そのときの印象を聞くと、さらにイメージがわきやすくなります。

### ●● 注意事項

映像を見せる際は、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカーをセットしておくことが必要になります。